

第72回 大阪府選手権大会 決勝リーグ

男子	我孫子	北豊島	豊中15	大領	勝敗	順位
我孫子	70 ○ 52	65 ○ 54	70 ○ 47		3勝0敗	1位
	19 - 11	20 - 10	20 - 10			
	17 - 9	16 - 11	14 - 10			
	18 - 12	12 - 9	20 - 12			
	16 - 20	17 - 24	16 - 15			
近畿大会出場						
北豊島	52 ● 70	41 ● 55	84 ○ 68		1勝2敗	3位
	11 - 19	8 - 15	20 - 12			
	9 - 17	13 - 10	27 - 13			
	12 - 18	9 - 8	14 - 19			
	20 - 16	11 - 22	23 - 24			
近畿大会出場						
豊中15	54 ● 65	55 ○ 41	50 ○ 45		2勝1敗	2位
	10 - 20	15 - 8	15 - 6			
	11 - 16	10 - 13	12 - 19			
	9 - 12	8 - 9	15 - 9			
	24 - 17	22 - 11	8 - 11			
近畿大会出場						
大領	47 ● 70	68 ● 84	45 ● 50		0勝3敗	4位
	10 - 20	12 - 20	6 - 15			
	10 - 14	13 - 27	19 - 12			
	12 - 20	19 - 14	9 - 15			
	15 - 16	24 - 23	11 - 8			
近畿大会出場						

女子	薫英女学院	東香里	樟蔭	取石	勝敗	順位
薫英女学院	65 ○ 39	72 ○ 52	49 ○ 47		3勝0敗	1位
	23 - 4	23 - 17	12 - 5			
	19 - 5	16 - 13	8 - 6			
	11 - 9	16 - 9	14 - 14			
	12 - 21	17 - 13	15 - 22			
近畿大会出場						
東香里	39 ● 65	53 ● 62	29 ● 75		0勝3敗	4位
	4 - 23	10 - 11	5 - 17			
	5 - 19	15 - 18	5 - 28			
	9 - 11	11 - 21	14 - 12			
	21 - 12	17 - 12	5 - 18			
近畿大会出場						
樟蔭	52 ● 72	62 ○ 53	41 ● 66		1勝2敗	3位
	17 - 23	11 - 10	13 - 11			
	13 - 16	18 - 15	10 - 19			
	9 - 16	21 - 11	10 - 16			
	13 - 17	12 - 17	8 - 20			
近畿大会出場						
取石	47 ● 49	75 ○ 29	66 ○ 41		2勝1敗	2位
	5 - 12	17 - 5	11 - 13			
	6 - 8	28 - 5	19 - 10			
	14 - 14	12 - 14	16 - 10			
	22 - 15	18 - 5	20 - 8			
近畿大会出場						

男子決勝リーグ戦評①

平成30年7月28日	A②	11:30	大阪市立我孫子中学校	19	17	18	16		70
家原大池体育館			池田市立北豊島中学校	11	9	12	20		52

我孫子④⑤⑥⑦⑧、北豊島④⑤⑥⑦⑭両チームハーフコートマンツースタート。我孫子が⑤を中心に得点を重ねるのに対し、北豊島は序盤、DFの高さが気になり攻めあぐねるが、⑤の3PTをきっかけに少しずつリズムを取り戻し、19対11我孫子8点リードで1Q終了。

2Q北豊島⑦の3PTや⑭のポストプレイでリズムを掴みかけるも我孫子も負けじと⑥のハイポストからのジャンパーや⑧の3PTで応戦。さらに⑤を中心とした速攻や1on1で一気に差を広げ、30対20と我孫子がリードしたところで北豊島がタイムアウト。その後も流れは変わらず36対20我孫子リードで前半終了。

3Qに入り北豊島が速い展開でリズムを作り、点差を縮めていくも我孫子がタイムアウト後再び落ち着きを取り戻し、⑥を中心に加点。北豊島も積極的にゴールにアタックし、ファウルを誘うがフリースローが決まらず54対32と我孫子がリードを広げ、3Q終了。

4Qまたも北豊島が⑤のシュートや④の速攻で差を縮めるも我孫子も⑤がドライブやフリースローを確実に決め、流れをわたさない。北豊島は⑥のリバウンドシュートや⑦の3PTで差を縮めるも70対52で我孫子が大きな1勝を手にした。

記入者：原辺・福嶋

平成30年7月28日	B②	11:30	豊中市立第十五中学校	15	12	15	8		50
家原大池体育館			大阪市立大領中学校	6	19	9	11		45

豊中15④⑥⑦⑧⑩、大領④⑦⑧⑪⑫でスタート。試合開始直後豊中15⑦の速攻からレイアップで先制。堅実なハーフコートDFからの速攻でリズムをつかむ。一方、大領は④⑦の1on1で応戦するが、シュートが決まらずタイムアウト。その後、激しいDFからの速攻などで徐々にリズムをつかみはじめるが、15対6で1Q終了。

2Qに入り、大領はオールコートでプレッシャーをかけ、④⑦の1on1と速攻で得点を重ね、リズムをつかむ。豊中15もリング下で⑩が頑張りをみせ応戦し、27対25で前半を終える。

後半に入り、豊中15はDFからの速攻で流れをつかみ、④⑥⑦⑧⑩とバランスよく得点を重ねていく。一方、大領も果敢に攻め込み⑧の3PTや④のドライブインなどで応戦。一進一退の攻防が続き、42対34で3Q終了。

4Q大領は④⑦の1on1と⑧の3PTで勢いに乗るも、豊中15が要所で得点を取り、なかなか点差は縮まらない。大領は残り1分でタイムアウトをとり、ダブルチームをしかけ逆転を狙うも、豊中15が落ち着いてボールをキープし、リードを守って勝利をおさめた。

記入者：広瀬・金田

平成30年7月30日	A2	11:30	大阪市立我孫子中学校	20	14	20	16		70
八尾市立総合体育館			大阪市立大領中学校	10	10	12	15		47

我孫子④⑤⑥⑦⑧、大領④⑦⑧⑪⑫でスタート。1Q両者とも硬い立ち上がりの中、大領は④のミドルシュートで先制するも、我孫子は⑤⑦のシュートで応戦。その後も我孫子⑤⑥のゴール下が決まり、大領がタイムアウト。しかしその後も我孫子の速攻が止まらず20対10と我孫子10点リードで1Q終了。

2Qの開始から大領は激しいDFから走る展開に持ち込み、④のミドルシュートや⑦のフリースローで得点を重ねる。しかし、我孫子も⑥のゴール下を中心に得点し、2Q終盤には大領がオールコートプレス仕掛けるも得点にはつながらず、34対20と我孫子14点リードで前半を終える。

3Q、我孫子は⑤のドライブ、ゴール下を中心に得点を重ねる。大領もシュートを放つがなかなか決めきることができず、54対32と我孫子22点リードで3Q終了。

4Q、オールコートプレスを駆使しながら大領は追い上げを図り、少しずつ点差を縮めていくが、我孫子も⑧の速攻や⑤のドライブで応戦し、タイムアップ。我孫子が2勝し、近畿大会出場を決めた。

記入者：福森・村本

男子決勝リーグ戦評②

平成30年7月30日	B②	11:30	池田市立北豊島中学校	8	13	9	11		41
八尾市立総合体育館			豊中市立第十五中学校	15	10	8	22		55

北豊島④⑤⑥⑦⑭、豊中15④⑥⑦⑧⑩でスタート。開始早々豊中15⑧の速攻で先制点を取る。その後豊中15⑥④⑦、北豊島④⑥が点を取り、1Q終了間際に豊中15が3PTシュートを決め、8対15で1Q終了

2Qスタートしてすぐ北豊島⑥が連続得点で点差をつめる。豊中15は4分間シュートが決まらず、3点差までつめられる。その後、豊中15⑧の1対1で再び点差を広げ、北豊島がタイムアウト。その後北豊島⑤⑥のシュートで2点差までつめるが、豊中15⑩の連続得点で21対25で終了。

3Q北豊島⑫の得点で点差をつめるが、豊中15⑥⑦の速攻で再び点差を広げる。両チームなかなかシュートが入らない時間帯が続いた。残り1分に北豊島⑤の3PTシュートで3点差までつめ、30対33で終了する。

4Qに入り、豊中15⑦⑧の速攻、⑩の1対1で得点を重ね、点差を広げる。北豊島は3分間ノーゴールが続く。豊中15⑥の1対1で11点差になり、北豊島がタイムアウト。その後、北豊島は⑥のインサイド⑤のミドルシュートで得点するが、豊中15も⑥⑦が得点を重ね、なかなか点差がつかまらない。その後、北豊島のターンオーバーが続き、豊中15は速攻で得点を重ねる。北豊島も⑤の連続得点で応戦するが、最後は豊中15が落ち着いたプレーでゲームをコントロールし、41対55でゲーム終了となった。

記入者：板野・北村

平成30年7月30日	A4	14:30	豊中市立第十五中学校	10	11	9	24		54
八尾市立総合体育館			大阪市立我孫子中学校	20	16	12	17		65

豊中15④⑥⑦⑧⑩、我孫子④⑤⑥⑦⑧両チームともハーフマンツースタート。我孫子は⑥の高さを活かしたプレーで得点を重ねる。対する豊中15は⑥の速攻で対抗する。しかし、我孫子⑤の1on1や⑥のポストプレーで主導権をにぎり、20対10我孫子リードで1Qを終える。

2Q豊中15は④の1on1や⑩のオフェンスリバウンドで攻撃をするも我孫子⑥⑤の高さに阻まれ思うように得点できない。対する我孫子は⑤のドライブから⑥へのあわせやミドルシュートを中心に確実に得点を重ねる。36対21我孫子リードで2Q終了。

3Q我孫子は⑤⑥の高さを活かしたプレーや連続速攻で点差を広げる。豊中15は速攻、④の3PTで対抗するも、我孫子の高さの前に単発なオフェンスにとどまり、得点が伸びない。48対30我孫子リードで3Q終了。

4Q豊中15はディフェンスのプレッシャーを強めるも、我孫子の高さをなかなか止めることができない。我孫子は⑤⑥を中心にオフェンスのリズムをつかみ、④や⑨も得点を重ねる。豊中15はあきらめずにディフェンスのプレッシャーをさらに強め、得点差を縮めるが、終始リードを保った我孫子中学校が全勝優勝を果たした。

記入者：日美・浅井

平成30年7月30日	B4	14:30	大阪市立大領中学校	12	13	19	24		68
八尾市立総合体育館			池田市立北豊島中学校	20	27	14	23		84

大領④⑤⑥⑦⑧、北豊島④⑤⑥⑦⑭でスタート。北豊島が2点を先制し、大領は3PTで応戦する。北豊島のペースでゲームが進み、大領はインサイド中心に攻めるがシュートを決めきれず。1Qを12対20で終える。

2Qは北豊島が⑤⑥を中心に得点を重ねる。一方大領も⑪のペリメーターショットで応戦するが、点差は徐々に開き、たまたま大領がタイムアウト。その後も北豊島のインサイド、アウトサイドを織り交ぜた多彩な攻撃を食い止めることができず、大領は2回目のタイムアウト。それでも点差を縮めることができず、25対47で前半を終える。

3Q大領④⑦⑧⑪⑫、北豊島⑤⑥⑦⑪⑭でスタート。大領は少しでも点差を縮めるべくオールコートでプレッシャーをかける。④の1対1を中心に得点を重ね、一時12点差までつめる。その後落ち着きを取り戻した北豊島は⑥のインサイドプレーを中心に得点し、44対61で3Qを終える。

4Qもオールコートでプレッシャーをかける大領に対して、北豊島も落ち着いて得点を重ね、なかなか点差が縮まらない。残り5分で大領がタイムアウト。最後まであきらめない姿勢で追い上げを見せるも68対84で試合終了。決勝リーグ最終戦で北豊島が貴重な1勝を勝ち取った。

記入者：大沼

女子決勝リーグ戦評①

平成30年7月28日	A1	10:00	私立大阪薫英女学院中学校	23	29	11	12		75
家原大池体育館			枚方市立東香里中学校	4	5	9	21		39

薫英④⑤⑥⑧⑫、東香里④⑤⑥⑦⑧でスタート。薫英⑧のジャンプシュートで先制。対する東香里は⑤のリバウンドシュートなどで応戦するも、薫英の堅い守りに阻まれ、その後なかなか得点できず。逆に薫英は速攻から⑥のシュートやドライブから⑧の合わせなどで着実に加点。23対4で1Qを終える。

2Q薫英は速いパス回しから⑫のジャンプシュート、⑧のポストプレーなどで得点。対する東香里は1対1からのリバウンドやポストプレーを頑張り、ファールからのフリースローで加点。しかし、なかなか堅い守りを破れず、残り5分25秒で東香里がタイムアウト。その後も薫英⑦のシュートや速攻などで加点。東香里も⑧のリバウンドからの合わせなどで応戦し、前半を42対9で終える。

後半薫英④⑤⑥⑧⑫、東香里④⑤⑥⑦⑧でスタート。薫英は⑤の1対1からのジャンプシュート、⑫のジャンプシュートで加点。東香里は⑤のドライブ、⑧のリバウンドシュートで加点する。その後、東香里④⑨⑪のジャンプシュートでリズムをつかむ。薫英は⑫の3PTなどで応戦。53対18で3Qを終える。

4Q東香里④がポストプレーを連続で決める。対する薫英は⑫のシュート、⑧のポストプレーで返す。東香里は⑧の1対1や⑤⑦のシュートで最後まで粘るも65対39で薫英女学院が勝利した。

記入者：福森・武本

平成30年7月28日	B1	10:00	私立樟蔭中学校	13	10	10	8		41
家原大池体育館			高石市立取石中学校	11	19	16	20		66

樟蔭④⑤⑥⑦⑧、取石④⑤⑦⑧⑩お互いハーフマンツーマンでスタート。樟蔭は④⑤中心に得点を重ねるのに対し、取石は⑤のポストプレーで応戦。13対11樟蔭2点リードで1Q終了。

2Qに入り、取石は⑧のドライブで同点に追いつき、積極的なディフェンスを仕掛けるが、樟蔭は上手くスペースを作ってパスを回し、得点を重ねる。取石は交代で入った⑫の3PTや積極的なアタックで流れをつかみ、23対30取石7点リードで前半終了。

3Q取石は持ち前のディフェンスから相手のミスを誘い、⑤⑧が得点を重ね、リードを広げる。終盤に樟蔭もオールコートマンツーマンでリズムを取り戻す。33対46取石13点リードで3Q終了。

4Qに入っても取石は④の3PTや⑤のポストプレーで着実に得点を積み上げる。樟蔭も激しいディフェンスからブレイクを出し、点差を縮めようとするが、41対66で試合終了。

勝った取石も敗れた樟蔭も最後までしっかりと足を動かし、粘り強く戦った試合だった。

記入者：金田・尾形

平成30年7月30日	A1	10:00	私立大阪薫英女学院中学校	23	16	16	17		72
八尾市立総合体育館			私立樟蔭中学校	17	13	9	13		52

1Q薫英④⑤⑥⑧⑫、樟蔭④⑤⑥⑦⑧、お互いハーフコートマンツーマンでスタート。開始から薫英は⑤の3PTやインサイド⑧のポストプレーでバランスよく得点するのに対し、樟蔭は⑦のオフェンスリバウンドや⑤の1on1でくらいつく。しかし、薫英⑤の3本目の3PTなどで23対17薫英リードで終える。

2Q薫英はディフェンスから相手のミス誘い、連続して速攻を決める。⑫の1on1や交代して入った⑦のシュートも決まり、樟蔭をつき離しにかかる。対する樟蔭は⑤の1on1を中心にくらいついていく。終了間際のシュートも決まり、39対30で前半を折り返す。

後半も1Qと同じメンバーでスタート。お互いシュートチャンスはあるものの、フィニッシュが決まらない。薫英は⑨を投入し、2センターでオフェンスを組み立て、⑧のオフェンスリバウンドからのシュートで加点して点差を広げにかかる。樟蔭も⑤の1on1でくらいついていくが、薫英のディフェンスプレッシャーがきつく、なかなか簡単にシュートが入らず、55対39で3Qを終える。

4Q開始早々、薫英はディフェンスからの速攻やセンター⑨の1on1などで加点していく。もう後がない樟蔭は⑤を中心に積極的に攻撃をしかけ、薫英のファウルを誘う。お互い一歩も譲らないまま時間が過ぎていく。追いつこうとプレッシャーをかける樟蔭に対し、薫英は交代したメンバーが動き回ってゲームの主導権を渡さない。薫英が72対52で勝利し、近畿大会出場を決めた。お互い最後まであきらめない素晴らしいゲームであった。

記入者：尾形・小野

女子決勝リーグ戦評②

平成30年7月30日	B1	10:00	枚方市立東香里中学校	5	5	14	5		29
八尾市立総合体育館			高石市立取石中学校	17	28	12	18		75

東香里④⑤⑥⑦⑧、取石④⑤⑦⑧⑩でスタート。取石は④のドライブイン、⑧の3PTでリードを奪う。対する東香里も④⑧を中心に反撃するが、なかなか得点が伸びず17対5取石リードで1Q終了。

2Q取石ハーフディフェンス1Q同様プレッシャーの手を緩めず、パスカットから⑦のシュート⑫④が3PTを決め、⑤のジャンプシュートと得点を重ね、残り3分で東香里がタイムアウトを取るも45対10で前半終了。

3Q取石は激しいプレッシャーDFからの速攻で得点を伸ばしていく。⑦⑩を中心に攻めの手を緩めない。東香里も④⑤を中心にゴール下での粘り強さを見せる。メンバーチェンジをしながら反撃を狙うが、57対24取石リードで3Q終了。

4Q東香里④⑤⑥⑦⑧、取石⑥⑨⑪⑮⑯でスタート。取石は⑨のドライブ⑰の速攻が決まり、残り7分で東香里のタイムアウト。その後、東香里があわせパスから⑤のシュート④のフリースローなど着実なプレーをするが、75対29で取石が勝利した。

記入者：印南・郷司

平成30年7月30日	A3	13:00	高石市立取石中学校	5	6	14	22		47
八尾市立総合体育館			私立大阪薫英女学院中学校	12	8	14	15		49

取石④⑤⑦⑧⑩、薫英④⑤⑥⑧⑮でスタート。先にリズムを掴んだのは取石。⑤を起点にオフェンスを作り、⑩のゴール下などで4対1とリードする。しかし、そこから薫英も速いパス回しから⑧→⑮のあわせ、⑤の1on1、④の3PTなどで一気にリードを奪い5対12薫英リードで1Q終了。

2Q立ち上がりお互いに粘り強いDFでボールを奪うも取石は得点に繋がらず、逆に薫英は⑦のポストプレイ、あわせから⑧のジャンプシュートやポストプレイで立て続けに得点を重ね残り6分で取石がタイムアウト。取石は積極的なDFから流れを引き寄せ、⑤のポストプレイを起点としてOFを組み立てリズムを掴みかけるが、薫英も⑧のインサイドプレイで攻撃し、流れを渡さず11対20で前半を終える。

3Q序盤から薫英④のドライブや速攻でのバスケットカウント。さらにワンショットも決めて11対25とリードを広げる。取石は薫英のDFを攻めあぐねるが、残り4分38秒で薫英⑧が4つ目のファウルをし、交代。そこから取石⑤の3連続得点。薫英も⑤のミドル、④の3PTなどで25対34で3Q終了。

4Q取石⑤のハイポストからのジャンプシュート、⑧のドライブインからバスケットカウント。ワンショットも決め、さらに④のスティールからの速攻で2点差までつめる。対する薫英も⑧の3PTで流れを渡さない。取石は前からプレッシャーディフェンスをしかけ、ターンオーバーを誘発させ、残り2分50秒④のドライブインでついに逆転。その後、薫英④⑧が得点し、激しい攻防が続く。薫英⑦の3PTが決まり、44対49と点差が開く。しかし、取石もサイドスローインでのセットプレーで⑫が3PTを決め返す(残り15秒47対49)。最後は薫英がボールをコントロールして逃げ切り、勝利した。

記入者：京塚・浅井

平成30年7月30日	B3	13:00	私立樟蔭中学校	11	18	21	12		62
八尾市立総合体育館			枚方市立東香里中学校	10	15	11	17		53

樟蔭④⑤⑥⑦⑧、東香里④⑤⑥⑦⑧でスタート。東香里はハーフマンツー、樟蔭はスリークォーターから積極的にプレスをかけて速い展開に持ち込み、速攻からの得点が目立つ。対して東香里は④を中心に1on1から得点を重ね、11対10で1Q終了。

2Q東香里は④が得点を重ねるが、樟蔭は1Qから引き続きプレスディフェンスで圧力をかけていき、⑰が3本連続でシュートを決め、27対20となったところで東香里がたまたまタイムアウト。その後、東香里は④が連続で得点し、なんとか点差を縮めたところで2Q29対25で終了。

3Qお互い1Qと同じメンバーでスタート。序盤、樟蔭は⑤⑧の連続3PTなどで一気に得点し、残り5分で東香里がタイムアウト。しかし、その後も樟蔭の流れは止まらず3Qで10点の差をつける。

4Q樟蔭はイーージーなシュートを決めきれず、東香里は集中して得点。東香里はディフェンスをオールコートにし、徐々に点差を縮め、4Q中盤で点差を1ケタにする。たまたま樟蔭がタイムアウト。その後、樟蔭が落ち着きを取り戻し、それ以上点差が縮まらないまま62対53で終了。両校とも最後まで戦った好ゲームであった。

記入者：濱口・福田